

# 平成28年度自己評価の振り返り結果

作成：箕面学園附属幼稚園

箕面学園 評価委員会

## 1. 本園の教育目標

「健やかな体、豊かな心を持つこども」

## 2. 本園の重点

- ・ 幼稚園生活を通じて、知・徳・体・聖・美のバランスのとれた心身の発達を促す。  
(建学の精神)
- ・ 安全・安心な環境のもと、体験活動の充実に努め、子どもの生きる力の基礎を培う。
- ・ 家庭・地域・小学校等との連携に努め、豊かな育ちと学びをつなぐ。

## 3. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

地域に密着した開かれた幼稚園をめざし、子ども、保護者、地域、職員間のコミュニケーションの充実を図ることを重点目標とした。

具体的には、① 積極的に研修に参加し教育課程の見直し・改善と指導力の向上を図る ② 保護者・関係機関との連携と情報発信・説明の強化 ③ 支援教育の取り組みの充実。

## 4. 重点項目の達成及び取組状況

- ① 積極的に研修に参加し年間教育課程の見直し・改善と指導力の向上を図る、について

箕面市教育委員会と連携した研修会の実施や各種研修会に積極的に参加。また、研修成果の共有と教育内容への還元に努めた。平成27年度の反省に基づき、27年度末・28年度当初の職員会議で教育課程を論議し、不易と流行を見極め、行事の見直し・精選を図った。その際、各取組の狙いを明確にした上で再確認し、教職員全体の共通理解を図った。また、保護者・後援会への説明と周知に努めた。

外部講師を招いた授業研究会を実施。週3回の 終礼(職員会議)で「全教職員が全園児の担任」たるべく、情報共有を図り行動連携・子ども理解に努め、必要に応じて研修会を持った。

- ② 保護者・関係機関との連携と情報発信・説明の強化、について

後援会とは行事ごとに連携をとり、学期ごとに反省会ももち、毎月のキンダーカウンセラー事業を通じた保護者支援も実施している。

従来、箕面市、箕面市教育委員会とは連絡を取り合っていたが、本園の災害時

避難先に指定されている小学校への避難訓練や支援の必要な園児の就学先小学校との連携等具体的な動きとなっている。

さらには、箕面消防本部、箕面警察署と連携した消防訓練や防犯教室も実施し、箕面学園高等学校及び箕面学園福祉保育専門学校との連携も強化された。

このような動きは、随時ホームページを更新し発信している。また、毎週の学級だより、お知らせ及び毎月の園便り等で保護者等に伝え理解を得るよう努めている。

### ③ 支援教育の取り組み、について

箕面市教育委員会等の指導・支援も得ながら、支援の必要な園児の教育的ニーズに応えるべく支援教育の取り組みを開始した。支援教育・人権教育の研修会も実施。

## 5. 在園児保護者からのメッセージ

- ・ 園長先生を始め、先生方が皆子ども達一人ひとりを丁寧に見てくださり、その子にあった小さな目標を立てて、それを達成できるように指導して下さいます。製作も数多く作るのでもともと上達しましたし、鉄棒や縄跳びなど運動面でも成長が感じられました。運動会や作品展、発表会などの行事では、とても感動させられます。また、普段の保育においても、毎週のようにクラスだよりで細かく子どもの様子を教えてくださるので、バス通園でも園の様子がよくわかり安心して通わせています。
- ・ 途中入園でこの幼稚園に入り最初は少し心配でしたが、子どもの性格をよく理解して頂き、親へのアドバイスもわかりやすくお話して下さいました。また、アレルギー対応にも嫌な顔せず丁寧に、毎回聞いてくださり感謝しています。先生方もお忙しい中、週に1回のクラスだよりで何をしているかがわかり、とても安心して通わせることができます。
- ・ 子ども達をのびのびと育てようとしてくれるところ、先生方が教育に熱心なところ、保護者が相談できるカウンセラーがあるところなど親子で安心して通わされると思いこの園を選びました。働きながら幼稚園へ通わすこともハードルが高いような気がしていましたが、お弁当をとっても喜んでくれるので、親も楽しめています。
- ・ こどもにとって初めての集団生活、社会に出る場となる幼稚園。なので、1番の決め手はアットホームな雰囲気でした。子ども達のがのびのびしていて本当に楽しんでいるのがわかります。担任の先生だけでなくすべての先生が園児たちの顔と名前を覚えていて、下の名前で呼んでくれることに驚きました。とても素敵なことだと思います。子ども達も先生方をとても身近に感じることができて安心して通っている様子です。

## 6. 今後取り組むべき課題

- ① 新幼稚園教育要領対応及び教職員の指導力向上のための研修
- ② 教育課程の改善と個に応じた指導・支援教育
- ③ 開かれた幼稚園と説明責任
- ④ 新こども・子育て支援策対応
- ⑤ 教職員のライフワークバランスの確保

## 7. 学校関係者の評価

- ・ 幼稚園が保育の質の向上に向けて継続的に取り組んでいることは大いに評価できます。PDCA サイクルが機能していることも評価しています。
- ・ 園長以下教職員一丸となって、教育目標実現に向け努力していることは評価できます。